

京都市では、施設の運営状況を分かりやすくお伝えする取組を行っています。

京都市生涯学習総合センターの運営について

京都の大学・企業をはじめとする各界各層の最高峰の叡智と力を結集した最高水準の生涯学習の実現を目指し、「文化都市・京都」にふさわしい生涯学習の拠点施設として、昭和56年4月に当館を設置しました。また、平成10年には、新たな生涯学習の拠点となる分館（生涯学習総合センター山科）を設置しました。

施設の主な取組（概要）

- 講演会、教養講座・実技講座の実施
様々なテーマで、より専門的な内容を学んでいただける教養講座等を開講しています。

「アスニー特別講演会」の様子



- 学習活動のための場の提供
研修室・実習室・会議室など多くの学習スペースを貸出ししています。

本館2階 第2サークル活動室



施設の利用状況（概数）

- 年間約44万人の方々にご来館いただいています。
(令和6年度48万人、令和5年度45万人、令和4年度40万人)
- 貸会議室の利用率（本館43%、分館53%）

施設運営に関する支出・収入（概数）

入館者1人あたりに換算すると、上記の取組などによる年間の支出は770円（総額3.7億円）、入館料などの収入は120円（総額0.6億円）です。この他、施設を利用しない方も含めた市民の皆様からの税金を活用し、運営しています。

<支出：770円（総額3.7億円）>

管理・運営費 710円	賃借料 30円	その他 (光熱水費等) 30円
----------------	------------	-----------------------

<収入：120円（総額0.6億円）>

研修室等使用料 120円	差額 650円 ← 市民の皆様からの税金を活用 →
-----------------	------------------------------